

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名	作成年月日	直近の更新年月日
宇都宮市	白沢地区	令和3年3月29日	令和5年3月17日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	534 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	330 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	138 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	18 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	74 ha
④地区内において今後中心経営体及び農地の守り手・支え手が新たに耕作する意向のある面積の合計 (備考)	100 ha

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心経営体等が引き受ける意向のある耕作面積は一定数あり、受け手は確保できるものの、耕作条件が悪く引き受けられない農地もある。 ・ 西鬼怒川沿岸の水田地帯は、約40～50年前の土地改良であり、区画が狭く、用排水路が不十分である。 ・ 相続未登記の農地が散在しており、今後も増えていくことが予想される。

3 対象地区内における中心経営体等への農地の集約化等に関する方針

<ul style="list-style-type: none"> ・ 西鬼怒川沿岸の水田地帯において、大区画化や用排水の改良による耕作条件の改善により、中心経営体等の受け手が受け入れ可能な農地を確保していく。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 相続未登記の農地についても、農地中間管理機構を活用し、中心経営体等へ集約・集積を図っていく。また、併せて農地中間管理機構を活用した農地耕作条件改善事業（土地改良）の施行を目指していく。

中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		計画		備考
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	
認農		水稲, ニラ	12.8 ha	水稲, ニラ	16.1 ha	
認農		バラ	0.5 ha	バラ	0.5 ha	
認農		ねぎ	1.3 ha	ねぎ	2.0 ha	
認農		水稲	12.0 ha	水稲, 麦	15.0 ha	
認農		水稲	2.0 ha	水稲	2.0 ha	他地区あり
集		水稲	45.6 ha	水稲	50.0 ha	他地区あり
認就		苺, 水稲	6.0 ha	苺, 水稲	6.4 ha	
認農		水稲, ねぎ	8.5 ha	水稲, ねぎ	11.0 ha	他地区あり
認農		水稲, 苺	7.5 ha	水稲, 苺	10.3 ha	
認農		水稲, 麦, ニラ	11.9 ha	水稲, 麦, ニラ	15.9 ha	
認農		水稲, 梨	8.9 ha	水稲, 梨	12.0 ha	
認農		水稲, 麦	7.0 ha	水稲, 麦	10.0 ha	
認農		水稲, 麦, 野菜	9.9 ha	水稲, 麦, 野菜	9.9 ha	
認農		水稲	9.5 ha	水稲	10.0 ha	
認農		水稲 椎茸	7.8 ha 8,000床	水稲, 野菜 椎茸	10.5 ha 8,000床	
認農		水稲, 麦	8.3 ha	水稲, 麦	8.3 ha	
認農		水稲, 麦, 人参	15.7 ha	水稲, 麦, 人参	19.0 ha	
認就		—	—	苺	0.3 ha	
認農		水稲, ニラ	5.2 ha	水稲, ニラ	6.4 ha	
認農		水稲	10.1 ha	水稲	12.0 ha	
認農		水稲, ニラ	1.2 ha	水稲, ニラ	1.2 ha	
認農		苺	0.3 ha	苺	0.4 ha	
認農		水稲, ニラ	7.7 ha	水稲, ニラ	10.5 ha	
認農		水稲, 麦	5.5 ha	水稲, 麦	5.5 ha	
認農		水稲, 麦	6.0 ha	水稲, 麦	7.0 ha	
認農		梨, 水稲, 麦	5.4 ha	梨, 水稲, 麦	5.9 ha	
認農		水稲, 麦, 大豆等	12.8 ha	水稲, 麦, 大豆等	16.0 ha	
認農		水稲, 梨	6.0 ha	水稲, 梨	8.0 ha	
認農		水稲, 麦, 大豆 菌床椎茸	1.7 ha 6,500床	水稲, 麦, 大豆 菌床椎茸	2.7 ha 7,000床	他地区あり
認農		水稲, ニラ, 麦	16.5 ha	水稲, ニラ, 麦	23.1 ha	他地区あり
認就		—	—	苺	0.3 ha	
認農		水稲	12.7 ha	水稲	12.7 ha	市外・他地区あり
認就		ねぎ	0.8 ha	ねぎ, 水稲	19.0 ha	他地区あり
認農		水稲	2.5 ha	水稲	5.0 ha	他地区あり
認就		ねぎ	0.7 ha	ねぎ, 水稲	9.0 ha	他地区あり
認農		にら	1.6 ha	にら	1.6 ha	
認農		水稲, 麦, 大豆	15.0 ha	水稲, 麦, 大豆	20.0 ha	他地区あり
認農		水稲 菌床椎茸	12.2 ha 2,300床	水稲, 野菜 菌床椎茸	15.2 ha 2,800床	他地区あり
認農		水稲	25.0 ha	水稲	30.0 ha	
認農		水稲	1.3 ha	水稲	1.3 ha	他地区あり
計	40人		325.4 ha		421.9 ha	

農地の守り手・支え手

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		計画		備考
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	
		水稲, 麦	4.8 ha	水稲, 麦	4.8 ha	
		水稲	3.5 ha	水稲	4.0 ha	
		水稲	3.0 ha	水稲	5.0 ha	
		水稲, アスパラガス	3.3 ha	水稲, アスパラガス	3.3 ha	
認農		水稲	1.8 ha	水稲	1.8 ha	他地区あり
		水稲, 麦	4.0 ha	水稲, 麦	4.0 ha	
認就		水稲, ねぎ	3.5 ha	水稲, ねぎ	3.5 ha	
		水稲	4.6 ha	水稲	5.5 ha	
		水稲	1.7 ha	水稲	1.7 ha	他地区あり
計	9人		30.2 ha		33.6 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

基盤整備への取組方針

農地耕作条件を改善し、中心経営体等が受け入れ可能な農地を増加させていくため、水田の大区画化や用排水の改良等の基盤整備事業（農地耕作条件改善事業等）の実施を検討していく。

農地中間管理機構の活用方針

相続未登記の農地を含む、中心経営体等への集約・集積について、農地中間管理機構を活用して進めていく。また、併せて農地中間管理機構を活用した農地耕作条件改善事業について検討していく。